

1. 構造名：

人造鉱物繊維断熱材充てん／水蒸気式高温熱処理木材・繊維混入けい酸カルシウム板表張／せっこうボード重裏張／木製軸組造外壁

2. 仕様の寸法：

仕様の寸法を表1に示す。

表1 仕様の寸法

項 目	仕 様
壁高さ	構造計算等により構造安全性が確かめられた寸法
壁厚さ	163.5mm以上
柱間隔	1000mm以下
柱・間柱間隔	500mm以下

3. 仕様の主構成材料：

仕様の主構成材料を表2に示す。

表2 仕様の主構成材料

項 目	仕 様
柱 (荷重支持部材)	材料：①～④の一 ①日本農林規格に適合する針葉樹の構造用製材 ②日本農林規格に適合する針葉樹の構造用集成材 ③日本農林規格に適合する構造用単板積層材 ④平成12年建設省告示第1452号第六号に規定する無等級材又は第七号に規定する木材 密度：0.38 (±0.038) g/cm³以上 断面寸法：105×105mm以上
間柱	材料：①～⑤の一 ①日本農林規格に適合する針葉樹の構造用製材、造作用製材又は下地用製材 ②日本農林規格に適合する針葉樹の構造用集成材又は集成材 ③日本農林規格に適合する構造用単板積層材又は造作用単板積層材 ④日本農林規格に適合する枠組壁工法構造用製材又は構造用たて継ぎ材 ⑤平成12年建設省告示第1452号第六号に規定する無等級材又は第七号に規定する木材 密度：0.36 (±0.036) g/cm³以上 断面寸法：27×105mm以上

つづく

つづき

外装材		材料：水蒸気式高温熱処理木材 原木の種類： 平成12年建設省告示第1452号第六号に規定する無等級材又は第七号に規定する木材 処理方法： 水蒸気による熱処理（処理温度：220（±5）℃、処理時間：2.5（±0.5）時間） 密度（熱処理後）：0.33（±0.033）g/cm³以上 寸法： 1) 外形 厚さ：12（±0.5）mm以上 幅：94（±0.5）～159（±0.5）mm 働き幅：85（±0.5）～150（±0.5）mm 2) 端部形状（外装材相互の重なりと隙間） 重なり：9mm以上 隙間：1mm以下 3) 断面欠損部形状 最小板厚：7.3（±0.5）mm以上 断面欠損率：9%以下 張り方：縦張
構造用面材		材料：繊維混入けい酸カルシウム板 （国土交通大臣認定不燃材料：NM-8578、パーミキュライト混入） 密度：1.0（±0.1）g/m³ 厚さ：9.5mm以上
充てん断熱材		材料：①又は② ①グラスウール断熱材（JIS A 9504、JIS A 9521） ②ロックウール断熱材（JIS A 9504、JIS A 9521） 密度：20（±2）kg/m³以上 厚さ：105mm以上
内装材	下張材	材料：①又は② ①せっこうボード（JIS A 6901） 厚さ：12.5mm以上 ②強化せっこうボード（JIS A 6901） 厚さ：12.5mm以上
	上張材	材料：①又は② ①せっこうボード（JIS A 6901） 厚さ：9.5mm以上 ②強化せっこうボード（JIS A 6901） 厚さ：12.5mm以上

4. 仕様の副構成材料：

仕様の副構成材料を表3に示す。

表3 仕様の副構成材料

項 目	仕 様
胴縁	材料：①～⑥の一 ①日本農林規格に適合する針葉樹の構造用製材、造作用製材又は下地用製材 ②日本農林規格に適合する針葉樹の構造用集成材又は集成材 ③日本農林規格に適合する構造用単板積層材又は造作用単板積層材 ④日本農林規格に適合する枠組壁工法構造用製材又は構造用たて継ぎ材 ⑤平成12年建設省告示第1452号に規定する無等級材又は第七号に規定する木材 ⑥日本農林規格に適合する構造用合板又は普通合板 密度：0.31(±0.031)g/cm³以上 断面寸法：15×45mm以上 取付間隔：500mm以下
防水紙	材料：①又は② ①アスファルトフェルト (JIS A 6005) ②透湿防水シート (JIS A 6111) 材質：1)、2) 又は3) 1) ポリエチレン 2) ポリエステル 3) ポリプロピレン 厚さ：0.3mm以下 アルミニウム層：あり又はなし 単位面積質量：430(±43)g/m²以下
内装材用目地処理材	仕様：(1) 又は (2) (1) なし (2) あり 材料：せっこうボード用目地処理材 (兼用ジョイントコンパウンド、JIS A 6914) 塗布量：100g/m以上
留付材	外装材固定用： 材料：くぎ 材質：鋼製又はステンレス鋼製 寸法：胴部径φ1.05×長さ35mm以上 留付間隔：鉛直方向500mm以下 (水平方向は外装材1枚につき1本留め) 胴縁固定用： 材料：①又は② ①くぎ 寸法：胴部径φ2.75×長さ50mm以上 ②ねじ 寸法：呼び径φ3.0×長さ50mm以上 材質：鋼製又はステンレス鋼製 留付間隔：500mm以下

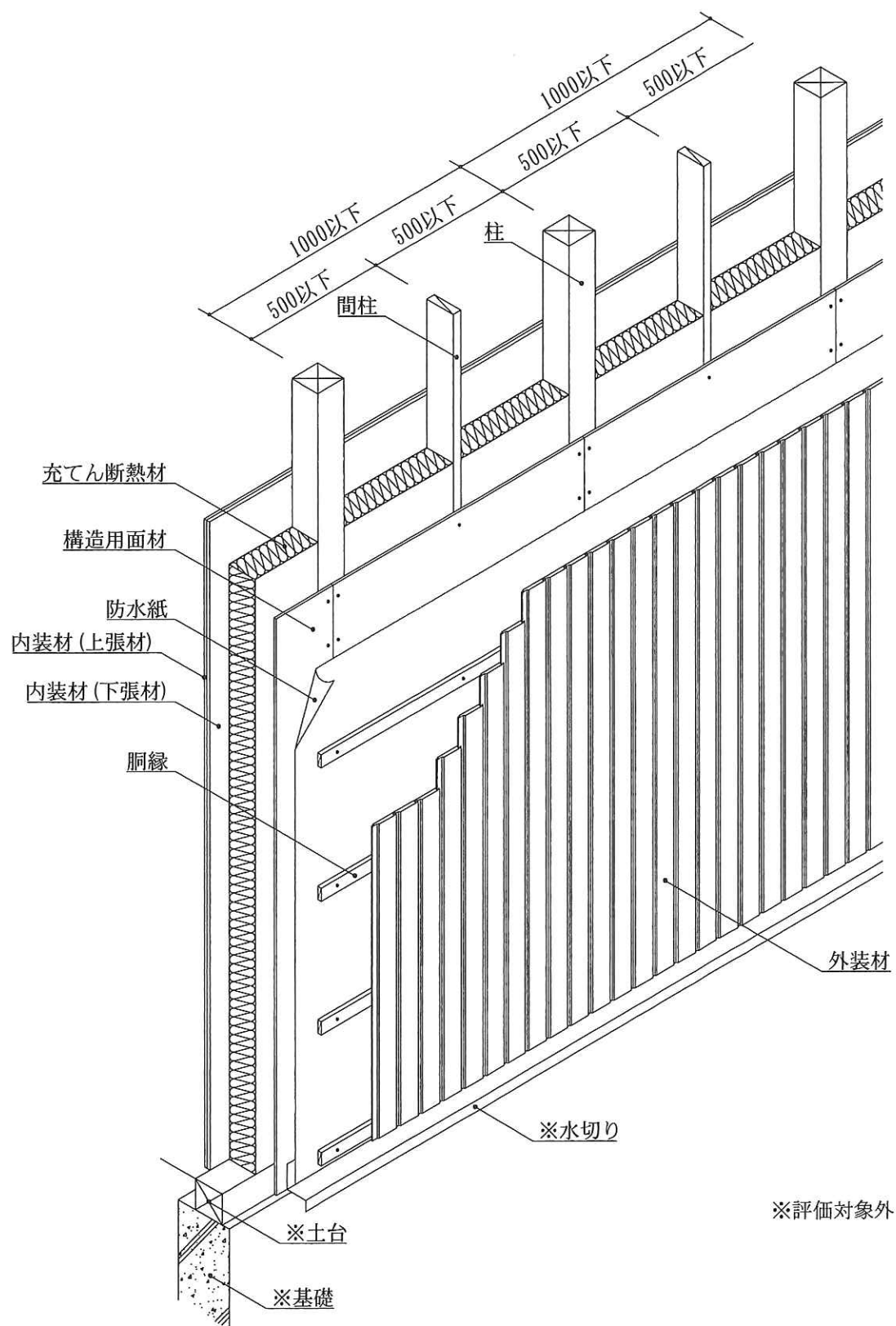
つづく

つづき

留付材	構造用面材固定用： 材料：①又は② ①くぎ 寸法：胴部径φ2.75×長さ50mm以上 ②ねじ 寸法：呼び径φ3.0×長さ50mm以上 材質：鋼製又はステンレス鋼製 留付間隔：周辺部150mm以下、中間部300mm以下
	充てん断熱材固定用： 材料：ステーブル 材質：鋼製又はステンレス鋼製 寸法：肩幅10mm以上、足長6mm以上 留付間隔：鉛直方向200mm以下
	防水紙固定用： 材料：ステーブル 材質：鋼製又はステンレス鋼製 寸法：肩幅10mm以上、足長6mm以上 留付間隔：鉛直方向1000mm以下、水平方向1500mm以下
	内装材(下張材)固定用： 材料：①又は② ①くぎ 寸法：胴部径φ1.7×長さ25mm以上 ②ねじ 寸法：呼び径φ2.5×長さ28mm以上 材質：鋼製又はステンレス鋼製 留付間隔：周辺部200mm以下、中間部200mm以下
	内装材(上張材)固定用： 材料：①又は② ①くぎ 寸法：胴部径φ2.15×長さ38mm以上 ②ねじ 寸法：呼び径φ3.0×長さ40mm以上 材質：鋼製又はステンレス鋼製 留付間隔：周辺部200mm以下、中間部200mm以下

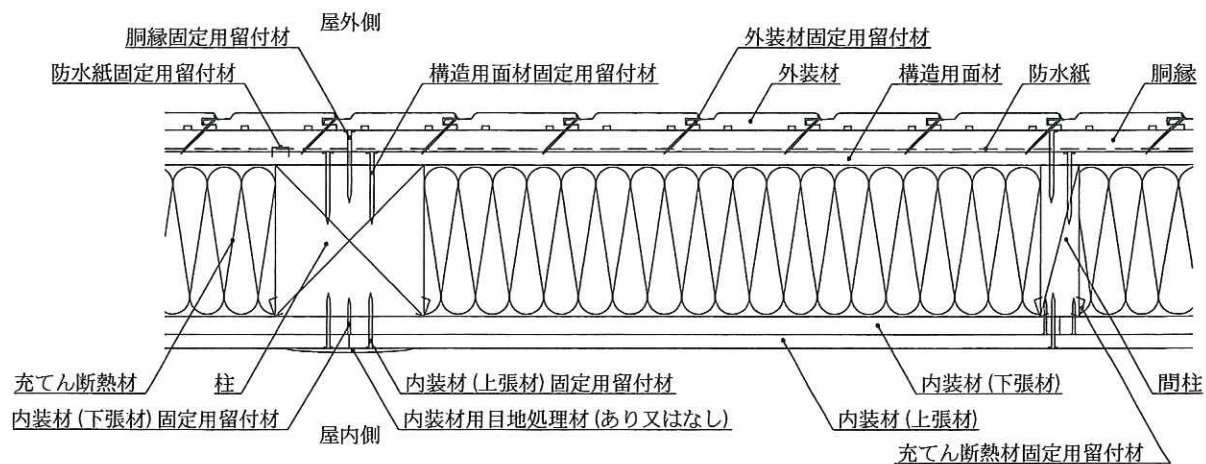
5. 仕様の構造説明図：

仕様の構造説明図を図1～図3に示す。

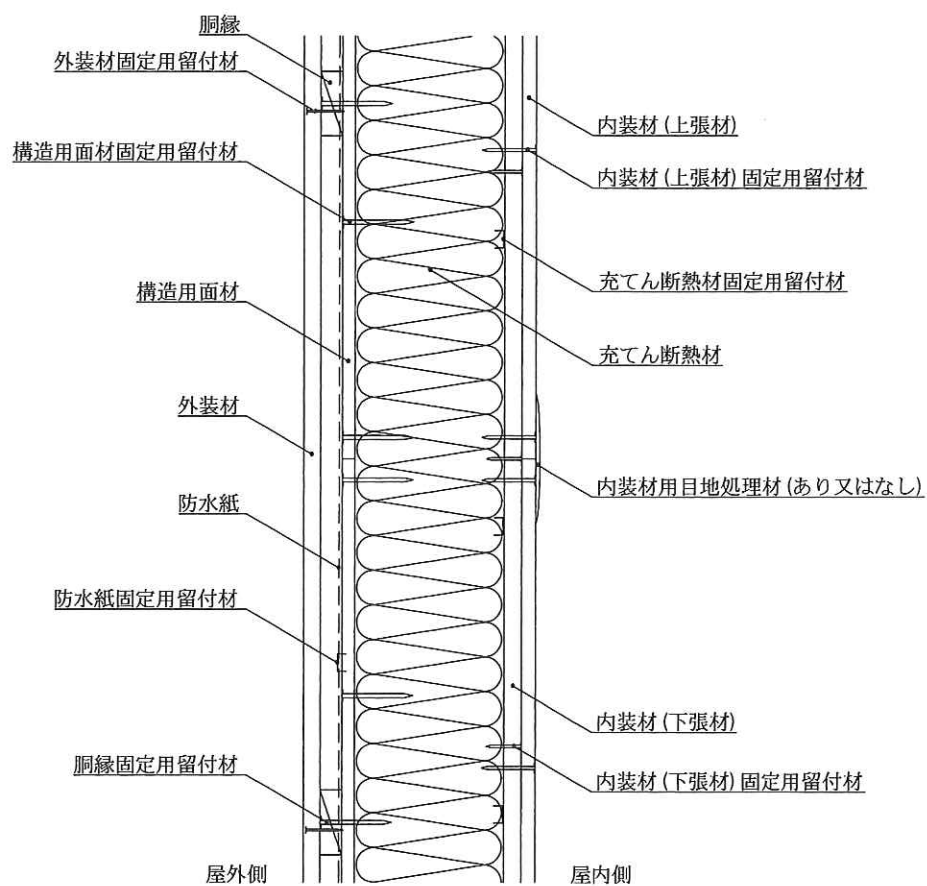


透視図

図1 構造説明図

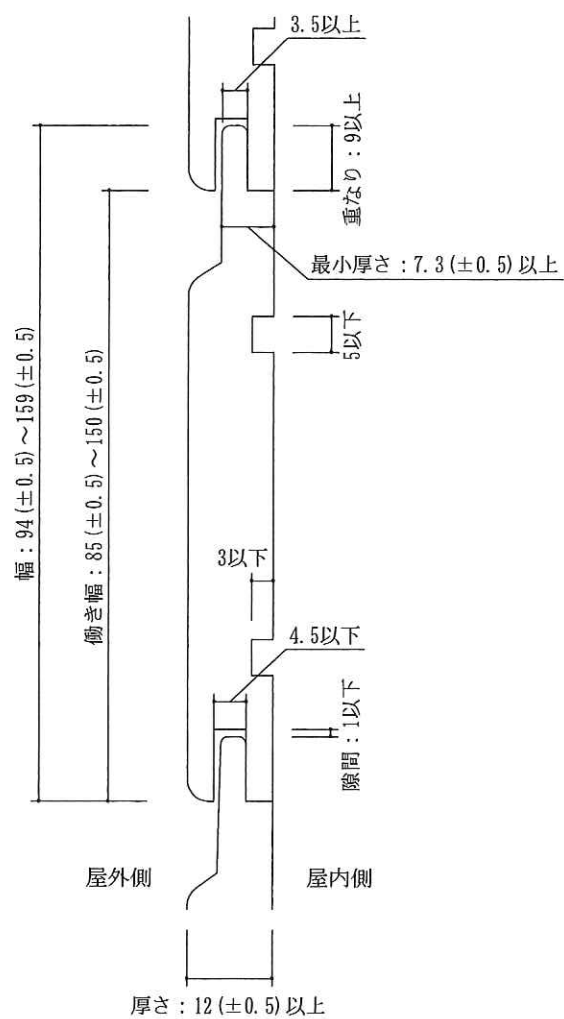


水平断面図



鉛直断面図

図2 構造説明図



外装材形状図

図3 構造説明図

6. 施工方法：

施工図を図4に示す。

施工は以下の手順で行う。

- (1) 躯体構造の施工状態確認
柱、間柱の間隔を確認する。
- (2) 構造用面材の取付け
構造用面材は、構造用面材固定用留付材を用いて柱、間柱、胴差 (評価対象外)、土台 (評価対象外) 等に取付ける。
- (3) 防水紙の張付け
防水紙は横張又は縦張とし、重ね代縦90mm以上、横90mm以上とり、防水紙固定用留付材を用いて構造用面材表面に張付ける。なお、張付ける際は、できるだけたるみ、しわのないように張付ける。
- (4) 胴縁の取付け
胴縁は、胴縁固定用留付材を用いて防水紙の表面に取付け、胴縁寸法で不陸のないように調整する。
- (5) 外装材の取付け
外装材の張り方は、縦張とする。外装材は外装材固定用留付材を用いて、板幅に応じて胴縁に留付ける。取付けは、目地通りよく、不陸、目違い等のないよう行う。
- (6) 充てん断熱材の充てん
充てん断熱材は、柱及び間柱との隙間が生じないように均一に充てんする。充てん後、充てん断熱材固定用留付材を用いて柱又は間柱に取付け固定する。
- (7) 内装材の取付け
内装材 (下張材、上張材) は、内装材 (下張材、上張材) 固定用留付材を用いて柱、間柱、土台 (評価対象外) その他の横架材 (評価対象外) に取付ける。内装材 (上張材) 目地部には必要に応じて内装材用目地処理材を施し、平滑に仕上げる。

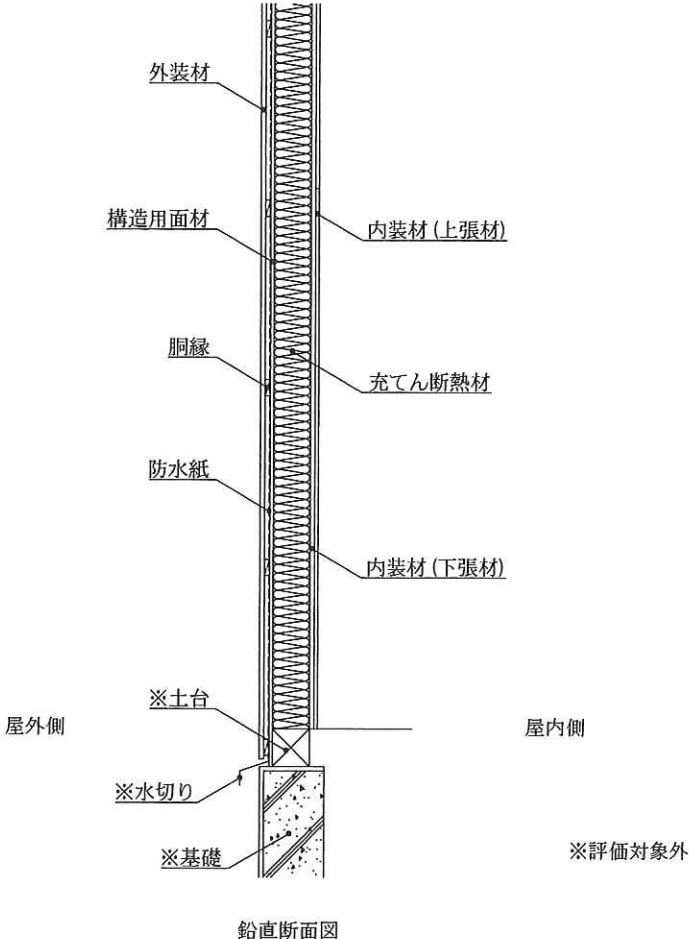
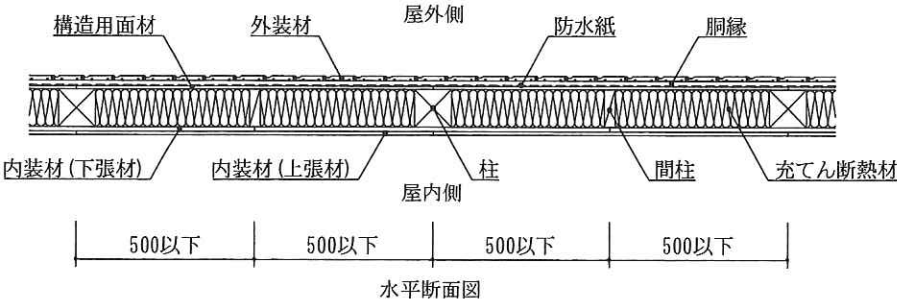


図4 施工図